

第8回日釣連チヌ釣りトーナメント大会 優勝 三重県釣連盟 水野 剛



令和7年4月6日(日)和歌山県田辺市目良地区において自身初となる日本釣連盟連絡協議会第8回チヌ釣りトーナメントとに参加させて頂きました。

大会当日は一回戦目から大雨、雷大会中断の中、前回大会3位の京都の濱田選手との対決でした。90分ハーフという短い時間での勝負で、上がった磯は、滅多に使用しない湾内磯であり、後半撒き餌さがきいてくると予想して、仕掛けが流しやすそうな方を後半に残して試合を始めました。前半は、お互いエサ取りの反応が少しあっただけの0-0。

場所を交代して後半がスタートした。20分位で撒き餌さがきいてきたのか道糸をひたっていく当たりが伝わり、無事に1尾を取り込むことが出来た。その後、そのままの状態ですべて終了となり2回戦へ。

2回戦、和歌山県の餅越選手と兵庫県の西岡選手との40分3クールでスタート。冲向きの本命ポイントが、2クール目にくるように場所を選びスタートしました。1クール目は、1試合目よりエサ取りが多く何もできないまま3人共に釣果無し。



2クール目は、冲向きの本命ポイントであったが、波が強く前に出れず釣りにくい場所でした。遠投してもエサ取りにやられるだけで諦めていましたが、後半に波が少し静かになりました。このタイミングで撒き餌さを撒かずにサシエサのみで様子を見ました。これが見事にはまり1尾をゲットし1-0-0で3クール目に入ったが、誰も釣果が無く試合終了。なんとか決勝戦へ進む事が出来ました。



初めての和歌山県の磯、初めてのトーナメント参戦、しかも決勝戦に進出。焦りと緊張でどうしていいかわからず、役員の方に決勝戦の場所を聞きに行った。すると「港に帰るの?」と聞かれ『決勝戦に出る選手ですが・・・』このやり取りに、思わず笑ってし

まいりました。これが良かったのか、緊張がほぐれ決勝戦を迎えることができました。

決勝戦では、私の所属する三重県グレ研の濱田会長にサポーターに入っても心強い限りでした。決勝戦の相手は、大阪府笹野選手と和歌山県岩田選手、40分3クールでの試合。場所決めジャンケンに負け残り物の場所から1クール目が始まりました。ポイント確認の時に、魚影見えたのでその場所を攻めてみましたが、潮の流れが早くガン玉を追加しましたが自分では対応しきれず、攻める場所を少しずらし仕切りなおしました。それが良かったのか幸先よく1枚目をゲット。



1-0-0で、2クール目では、他の選手が釣り上げ1-1-0となり、3クール目に入った。また、別の選手が釣り上げ1-1-1。ここまで来て負けたくないと思いき、残り15分位でもう1枚追加し2-1-1で試合終了。



優勝が決まった瞬間、これまでご指導頂いた一緒に三重県代表選手として出場した阿部さんに心より感謝とお礼を伝えた。又、チヌ釣りが好きだった三重グレ研前会長笠見さんの手向けになれば、これ以上の恩返しは無いと感じました。



最後になりますが、今大会の運営等段取りしていただいた、役員の皆様、御協賛いただきましたメーカー各位、安全に渡磯していただきました目良渡船様、参加された選手の皆様、本当にありがとうございました。この場をお借りして 御礼申し上げます。